

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 和歌山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
海南市	海南医療センター	3
橋本市	橋本市民病院	4
有田市	市立病院	5
新宮市	新宮市立医療センター	6
高野町	高野山病院	7
すさみ町	国保すさみ病院	8
那智勝浦町	温泉病院	9
串本町	くしもと町立病院	10
国民健康保険野上厚生病院組合	国保野上厚生総合病院	11
公立那賀病院経営事務組合	公立那賀病院	12
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	ひだか病院	13
公立紀南病院組合	紀南病院	14

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	和歌山県
		市町村・組合名	
		病院名	こころの医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,637 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨
診療科数	2	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	57.8	61.4	67.1
感染症	-	-	-	-
計	300	57.8	61.4	67.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	963,579	
決算規模(千円)	535,861,333	
標準財政規模(千円)	293,691,174	
財政力指数	0.33255	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	203.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,304,088			
1 経常収益	2,301,982			
(1) 医業収益	1,369,969			
入院収益	1,136,083			
外来収益	146,377			
診療収入計	1,282,460			
その他医業収益	87,509			
(うち他会計負担金)	83,107			
(2) 医業外収益	932,013			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	603,666			
(うち長期前受金戻入)	17,495			
(うち資本費繰入収益)	306,321			
(3) 特別利益	2,106			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,131,449			
2 経常費用	2,131,449			
(1) 医業費用	2,064,649			
職員給与費	1,441,724	105.2	55.7	98.9
材料費	94,104	6.9	24.7	8.8
(うち薬品費)	71,027	5.2	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,455	1.4	11.0	1.1
減価償却費	183,490	13.4	9.0	12.7
経費	342,616	25.0	23.3	34.6
(うち委託料)	225,702	16.5	11.5	17.1
研究研修費	1,760			
資産減耗費	955			
(2) 医業外費用	66,800			
(うち支払利息)	62,819	4.6	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	170,533			
純損益	172,639			
累積欠損金	882,084			
経常収支比率	108.0		97.7	98.9
医業収支比率	66.4		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	50.1		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	29.8		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	75.8		85.7	64.3

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,443,824
1 固定資産	3,191,221
(1) 有形固定資産	3,191,086
(2) 無形固定資産	135
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	252,603
(1) 現金及び預金	36,905
(2) 未収金及び未収収益	216,506
(3) 貸倒引当金( )	9,635
(4) 貯蔵品	8,827
3 繰延資産	-
負債合計	4,259,195
1 固定負債	3,469,967
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,463,772
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,195
2 流動負債	518,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	359,873
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	93,851
(6) リース債務	2,228
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	53,424
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	271,228
(1) 長期前受金	820,245
(2) 長期前受金収益化累計額( )	549,017
資本合計	-815,371
1 資本金	64,213
2 剰余金	-879,584
(1) 資本剰余金	2,500
(2) 利益剰余金	-882,084
負債・資本合計	3,443,824
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	815,371
資本不足額(繰延収益控除後)( )	544,143
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.3
修正医業収益(千円)	1,286,862

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	659,286	686,773
資本勘定繰入	221,544	306,633
計	880,830	993,406

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	海南市
				病院名	海南医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,377 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨		
診療科数	14	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	150	79.7	80.9	80.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	79.7	80.9	80.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.8	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	51,860	
決算規模(千円)	25,501,247	
標準財政規模(千円)	13,615,223	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	98.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	88.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.5
修正医業収益(千円)	3,302,654

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,853,558			
1 経常収益	3,853,558			
(1) 医業収益	3,511,157			
入院収益	2,227,354			
外来収益	889,464			
診療収入計	3,116,818			
その他医業収益	394,339			
(うち他会計負担金)	208,503			
(2) 医業外収益	342,401			
(うち国・都道府県補助金)	78			
(うち他会計補助・負担金)	248,996			
(うち長期前受金戻入)	43,496			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,778,709			
2 経常費用	3,714,570			
(1) 医業費用	3,531,006			
職員給与費	1,965,485	56.0	55.7	61.3
材料費	727,440	20.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	441,046	12.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	286,394	8.2	11.0	8.2
減価償却費	197,186	5.6	9.0	10.2
経費	598,584	17.0	23.3	30.5
(うち委託料)	219,650	6.3	11.5	13.0
研究研修費	10,402			
資産減耗費	31,909			
(2) 医業外費用	183,564			
(うち支払利息)	31,107	0.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	64,139			
損益				
経常損益	138,988			
純損益	74,849			
累積欠損金	4,123,195			
経常収支比率	103.7		97.7	96.5
医業収支比率	99.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	11.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	91.4		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,873,496
1 固定資産	3,876,079
(1) 有形固定資産	3,708,830
(2) 無形固定資産	368
(3) 投資その他の資産	166,881
2 流動資産	997,417
(1) 現金及び預金	542,160
(2) 未収金及び未収収益	434,128
(3) 貸倒引当金( )	2,388
(4) 貯蔵品	23,087
3 繰延資産	-
負債合計	4,635,317
1 固定負債	2,795,085
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,207,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	233,334
(6) 引当金	354,566
(7) リース債務	-
2 流動負債	920,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	185,434
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	16,666
(5) 引当金	152,641
(6) リース債務	713
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	552,474
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	920,177
(1) 長期前受金	1,237,601
(2) 長期前受金収益化累計額( )	317,424
資本合計	238,179
1 資本金	4,342,548
2 剰余金	-4,104,369
(1) 資本剰余金	18,826
(2) 利益剰余金	-4,123,195
負債・資本合計	4,873,496
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	457,499	457,499
資本勘定繰入	56,674	56,674
計	514,173	514,173

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	39,727	1.1
平成29年度	360,894	11.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	117.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	橋本市
				病院名	橋本市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,410 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災輪		
診療科数	25	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	81.7	86.6	85.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	81.7	86.6	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.2	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	63,621	
決算規模(千円)	26,008,874	
標準財政規模(千円)	16,163,868	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	101.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	101.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収益(千円)	6,508,759

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,394,520			
1 経常収益	7,352,870			
(1) 医業収益	6,601,594			
入院収益	4,585,608			
外来収益	1,694,017			
診療収入計	6,279,625			
その他医業収益	321,969			
(うち他会計負担金)	92,835			
(2) 医業外収益	751,276			
(うち国・都道府県補助金)	9,057			
(うち他会計補助・負担金)	313,192			
(うち長期前受金戻入)	282,518			
(うち資本費繰入収益)	78,355			
(3) 特別利益	41,650			
(うち他会計繰入金)	32			
総費用	7,662,237			
2 経常費用	7,652,927			
(1) 医業費用	7,238,511			
職員給与費	4,018,644	60.9	55.7	57.0
材料費	1,376,567	20.9	24.7	24.5
(うち薬品費)	636,463	9.6	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	740,104	11.2	11.0	11.3
減価償却費	564,904	8.6	9.0	9.3
経費	1,261,470	19.1	23.3	22.1
(うち委託料)	753,146	11.4	11.5	11.1
研究研修費	12,469			
資産減耗費	4,457			
(2) 医業外費用	414,416			
(うち支払利息)	142,557	2.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	9,310			
損益				
経常損益	-300,057			
純損益	-267,717			
累積欠損金	3,729,227			
経常収支比率	96.1		97.7	96.4
医業収支比率	91.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	5.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	90.8		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,321,163
1 固定資産	7,039,398
(1) 有形固定資産	6,850,834
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	188,564
2 流動資産	1,281,765
(1) 現金及び預金	312,653
(2) 未収金及び未収収益	950,120
(3) 貸倒引当金( )	1,744
(4) 貯蔵品	20,708
3 繰延資産	-
負債合計	8,610,390
1 固定負債	7,408,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,917,044
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	484,692
(7) リース債務	6,492
2 流動負債	1,144,133
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	621,467
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,702
(6) リース債務	4,359
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	308,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	58,029
(1) 長期前受金	913,976
(2) 長期前受金収益化累計額( )	855,947
資本合計	-289,227
1 資本金	2,802,467
2 剰余金	-3,091,694
(1) 資本金剰余金	637,033
(2) 利益剰余金	-3,728,727
負債・資本合計	8,321,163
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	289,227
資本不足額(繰延収益控除後)( )	231,198
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	481,188	406,059
資本勘定繰入	370,224	371,489
計	851,412	777,548

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	56.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	有田市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,675 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	感	災
診療科数	12	看護配置	1	0	: 1
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	153	66.8	74.9	67.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	5.1	-	-
計	157	65.3	73.0	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	16.8	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	28,470	
決算規模(千円)	16,974,646	
標準財政規模(千円)	7,090,456	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	100.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.3
修正医業収益(千円)	2,220,182

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,687,695			
1 経常収益	2,687,695			
(1) 医業収益	2,322,692			
入院収益	1,525,754			
外来収益	600,765			
診療収入計	2,126,519			
その他医業収益	196,173			
(うち他会計負担金)	102,510			
(2) 医業外収益	365,003			
(うち国・都道府県補助金)	6,134			
(うち他会計補助・負担金)	250,681			
(うち長期前受金戻入)	14,635			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,839,751			
2 経常費用	2,839,751			
(1) 医業費用	2,664,594			
職員給与費	1,592,073	68.5	55.7	61.3
材料費	294,273	12.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	141,401	6.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	149,819	6.5	11.0	8.2
減価償却費	151,377	6.5	9.0	10.2
経費	620,250	26.7	23.3	30.5
(うち委託料)	316,020	13.6	11.5	13.0
研究研修費	6,621			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	175,157			
(うち支払利息)	30,161	1.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-152,056			
純損益	-152,056			
累積欠損金	4,184,966			
経常収支比率	94.6		97.7	96.5
医業収支比率	87.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	82.2		85.7	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,936,280
1 固定資産	2,402,785
(1) 有形固定資産	2,366,838
(2) 無形固定資産	302
(3) 投資その他の資産	35,645
2 流動資産	533,495
(1) 現金及び預金	165,064
(2) 未収金及び未収収益	349,492
(3) 貸倒引当金( )	10,181
(4) 貯蔵品	26,252
3 繰延資産	-
負債合計	2,300,544
1 固定負債	1,110,895
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	642,299
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	71,855
(7) リース債務	96,741
2 流動負債	1,041,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	204,969
(2) その他の企業債	6,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	90,169
(6) リース債務	26,310
(7) 一時借入金	550,000
(8) 未払金及び未払費用	151,418
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	147,785
(1) 長期前受金	324,712
(2) 長期前受金収益化累計額( )	176,927
資本合計	635,736
1 資本金	4,601,480
2 剰余金	-3,965,744
(1) 資本剰余金	219,222
(2) 利益剰余金	-4,184,966
負債・資本合計	2,936,280
不良債務	303,400
実質資金不足額	303,400
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	353,191	353,191
資本勘定繰入	114,544	114,544
計	467,735	467,735

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	303,400	13.1
平成30年度	187,259	7.3
平成29年度	161,354	7.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	180.2
健全化法上の資金不足額(千円)	130,911
健全化法上の資金不足比率(%)	5.6
地財法上の資金不足額(千円)	303,400
地財法上の資金不足比率(%)	13.0

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	新宮市
				病院名	新宮市立医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,878 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感災地		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	83.3	83.9	84.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.3	-	0.3
計	304	82.2	82.8	83.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.8	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	29,331	
決算規模(千円)	16,614,452	
標準財政規模(千円)	9,221,761	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	47.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.5
修正医業収益(千円)	6,326,138

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,127,183			
1 経常収益	7,072,525			
(1) 医業収益	6,453,890			
入院収益	4,206,406			
外来収益	1,884,172			
診療収入計	6,090,578			
その他医業収益	363,312			
(うち他会計負担金)	127,752			
(2) 医業外収益	618,635			
(うち国・都道府県補助金)	19,822			
(うち他会計補助・負担金)	234,901			
(うち長期前受金戻入)	303,790			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	54,658			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,183,057			
2 経常費用	7,182,850			
(1) 医業費用	6,840,531			
職員給与費	3,444,031	53.4	55.7	57.0
材料費	1,435,334	22.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	737,671	11.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	697,034	10.8	11.0	11.3
減価償却費	518,143	8.0	9.0	9.3
経費	1,412,680	21.9	23.3	22.1
(うち委託料)	775,955	12.0	11.5	11.1
研究研修費	20,051			
資産減耗費	10,292			
(2) 医業外費用	342,319			
(うち支払利息)	95,519	1.5	1.4	1.4
(3) 特別損失	207			
損益				
経常損益	-110,325			
純損益	-55,874			
累積欠損金	391,435			
経常収支比率	98.5		97.7	96.4
医業収支比率	94.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	93.4		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,417,391
1 固定資産	7,747,829
(1) 有形固定資産	7,746,009
(2) 無形固定資産	620
(3) 投資その他の資産	1,200
2 流動資産	2,669,562
(1) 現金及び預金	1,066,397
(2) 未収金及び未収収益	1,553,335
(3) 貸倒引当金( )	6,078
(4) 貯蔵品	40,290
3 繰延資産	-
負債合計	7,993,325
1 固定負債	5,894,124
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,250,961
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	643,163
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,373,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	768,843
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	189,841
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	387,831
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	725,355
(1) 長期前受金	5,008,060
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,282,705
資本合計	2,424,066
1 資本金	1,967,794
2 剰余金	456,272
(1) 資本金剰余金	770,078
(2) 利益剰余金	-313,806
負債・資本合計	10,417,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	657,602	362,653
資本勘定繰入	471,093	480,622
計	1,128,695	843,275

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	和歌山県
		市町村・組合名	高野町
		病院名	高野山病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,352	
決算規模(千円)	3,578,927	
標準財政規模(千円)	1,998,707	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	822			
1 経常収益	822			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	822			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	822			
2 経常費用	822			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	822			
(うち支払利息)	822	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,319			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	すさみ町
	病院名	国保すさみ病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,056 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	48	36.5	27.2	33.6
療養	24	16.0	61.9	80.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	72	29.7	38.8	49.3
平均在院日数(一般病床のみ)		38.7	20.5	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	4,127	
決算規模(千円)	3,931,004	
標準財政規模(千円)	2,377,407	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.2
修正医業収益(千円)	456,401

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	709,024			
1 経常収益	709,024			
(1) 医業収益	496,089			
入院収益	162,108			
外来収益	280,334			
診療収入計	442,442			
その他医業収益	53,647			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	212,935			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	194,812			
(うち長期前受金戻入)	13,612			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	743,908			
2 経常費用	743,908			
(1) 医業費用	721,711			
職員給与費	413,068	83.3	55.7	72.6
材料費	167,646	33.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	146,610	29.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,109	3.2	11.0	5.6
減価償却費	33,447	6.7	9.0	11.1
経費	105,751	21.3	23.3	31.9
(うち委託料)	36,409	7.3	11.5	13.0
研究研修費	1,665			
資産減耗費	134			
(2) 医業外費用	22,197			
(うち支払利息)	671	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-34,884			
純損益	-34,884			
累積欠損金	589,591			
経常収支比率	95.3		97.7	97.4
医業収支比率	68.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	33.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	47.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	33.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	63.8		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	537,681
1 固定資産	371,995
(1) 有形固定資産	371,851
(2) 無形固定資産	144
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	165,686
(1) 現金及び預金	91,508
(2) 未収金及び未収収益	63,753
(3) 貸倒引当金( )	358
(4) 貯蔵品	10,783
3 繰延資産	-
負債合計	687,895
1 固定負債	437,795
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,380
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	376,415
(7) リース債務	-
2 流動負債	70,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,891
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,147
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,730
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	179,332
(1) 長期前受金	348,753
(2) 長期前受金収益化累計額( )	169,421
資本合計	-150,214
1 資本金	310,445
2 剰余金	-460,659
(1) 資本金剰余金	118,932
(2) 利益剰余金	-579,591
負債・資本合計	537,681
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	150,214
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	315,025	234,500
資本勘定繰入	8,445	15,500
計	323,470	250,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	118.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	那智勝浦町
				病院名	温泉病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,261 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	87.1	82.3	73.0
療養	-	-	-	60.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	87.1	82.3	68.1
平均在院日数(一般病床のみ)		28.7	27.4	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	15,682	
決算規模(千円)	7,856,837	
標準財政規模(千円)	4,893,424	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	37.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.0
修正医業収益(千円)	1,704,424

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,220,686			
1 経常収益	2,154,282			
(1) 医業収益	1,745,336			
入院収益	1,219,228			
外来収益	429,358			
診療収入計	1,648,586			
その他医業収益	96,750			
(うち他会計負担金)	40,912			
(2) 医業外収益	408,946			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	195,274			
(うち長期前受金戻入)	147,431			
(うち資本費繰入収益)	54,117			
(3) 特別利益	66,404			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,248,092			
2 経常費用	2,241,035			
(1) 医業費用	2,129,714			
職員給与費	1,228,141	70.4	55.7	61.3
材料費	194,804	11.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	100,185	5.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,678	3.9	11.0	8.2
減価償却費	261,676	15.0	9.0	10.2
経費	439,382	25.2	23.3	30.5
(うち委託料)	224,651	12.9	11.5	13.0
研究研修費	4,622			
資産減耗費	1,089			
(2) 医業外費用	111,321			
(うち支払利息)	15,304	0.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	7,057			
損益				
経常損益	-86,753			
純損益	-27,406			
累積欠損金	978,031			
経常収支比率	96.1		97.7	96.5
医業収支比率	82.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	85.6		85.7	80.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,169,460
1 固定資産	4,824,107
(1) 有形固定資産	4,668,731
(2) 無形固定資産	1,682
(3) 投資その他の資産	153,694
2 流動資産	345,353
(1) 現金及び預金	68,741
(2) 未収金及び未収収益	281,211
(3) 貸倒引当金( )	12,791
(4) 貯蔵品	6,782
3 繰延資産	-
負債合計	5,469,514
1 固定負債	3,701,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,160,439
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	540,741
(7) リース債務	-
2 流動負債	305,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	135,460
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	79,833
(6) リース債務	663
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	88,989
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,463,283
(1) 長期前受金	1,692,775
(2) 長期前受金収益化累計額( )	229,492
資本合計	-300,054
1 資本金	538,689
2 剰余金	-838,743
(1) 資本金剰余金	139,288
(2) 利益剰余金	-978,031
負債・資本合計	5,169,460
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	300,054
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	189,632	236,186
資本勘定繰入	59,333	64,721
計	248,965	300,907

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	56.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	串本町
				病院名	くしもと町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,917 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	90	71.4	72.0	81.5
療養	40	67.1	72.2	73.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	70.1	72.0	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	18.8	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	16,558	
決算規模(千円)	11,937,587	
標準財政規模(千円)	5,948,020	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	69.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.2
修正医業収益(千円)	1,540,903

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,045,037			
1 経常収益	2,045,037			
(1) 医業収益	1,580,591			
入院収益	965,235			
外来収益	495,063			
診療収入計	1,460,298			
その他医業収益	120,293			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	464,446			
(うち国・都道府県補助金)	455			
(うち他会計補助・負担金)	392,096			
(うち長期前受金戻入)	61,359			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,052,436			
2 経常費用	2,052,436			
(1) 医業費用	1,970,000			
職員給与費	990,482	62.7	55.7	61.3
材料費	272,035	17.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	109,569	6.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	137,039	8.7	11.0	8.2
減価償却費	156,528	9.9	9.0	10.2
経費	544,007	34.4	23.3	30.5
(うち委託料)	270,120	17.1	11.5	13.0
研究研修費	6,229			
資産減耗費	719			
(2) 医業外費用	82,436			
(うち支払利息)	21,585	1.4	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-7,399			
純損益	-7,399			
累積欠損金	134,531			
経常収支比率	99.6		97.7	96.5
医業収支比率	80.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	78.6		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,184,748
1 固定資産	2,928,539
(1) 有形固定資産	2,924,844
(2) 無形固定資産	1,795
(3) 投資その他の資産	1,900
2 流動資産	256,209
(1) 現金及び預金	11,822
(2) 未収金及び未収収益	269,575
(3) 貸倒引当金( )	43,308
(4) 貯蔵品	18,120
3 繰延資産	-
負債合計	3,016,512
1 固定負債	1,688,070
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,397,516
(2) その他の企業債	238,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,754
(7) リース債務	-
2 流動負債	417,029
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	167,319
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,014
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	73,689
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	911,413
(1) 長期前受金	1,501,928
(2) 長期前受金収益化累計額( )	590,515
資本合計	168,236
1 資本金	217,438
2 剰余金	-49,202
(1) 資本剰余金	85,129
(2) 利益剰余金	-134,331
負債・資本合計	3,184,748
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	173,888	431,784
資本勘定繰入	48,556	131,154
計	222,444	562,938

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	41,829	2.8
平成29年度	235,752	14.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.5
健全化法上の資金不足額(千円)	232,301
健全化法上の資金不足比率(%)	14.6
地財法上の資金不足額(千円)	232,301
地財法上の資金不足比率(%)	14.6

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	国民健康保険野上厚生病院組合
				病院名	国保野上厚生総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,938 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 へ		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	69.0	66.6	73.9
療養	54	82.4	80.4	84.7
結核	-	-	-	-
精神	100	91.3	91.6	94.0
感染症	-	-	-	-
計	254	80.6	79.4	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	18.5	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.7
修正医業収益(千円)	2,125,582

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,917,711			
1 経常収益	2,917,711			
(1) 医業収益	2,163,573			
入院収益	1,579,300			
外来収益	424,147			
診療収入計	2,003,447			
その他医業収益	160,126			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	754,138			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	606,186			
(うち長期前受金戻入)	20,999			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,111,960			
2 経常費用	3,107,240			
(1) 医業費用	2,770,892			
職員給与費	1,706,790	78.9	55.7	59.8
材料費	284,409	13.1	24.7	19.0
(うち薬品費)	150,011	6.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	82,272	3.8	11.0	9.2
減価償却費	258,898	12.0	9.0	9.9
経費	510,397	23.6	23.3	27.7
(うち委託料)	217,045	10.0	11.5	12.4
研究研修費	3,150			
資産減耗費	7,248			
(2) 医業外費用	336,348			
(うち支払利息)	59,985	2.8	1.4	1.5
(3) 特別損失	4,720			
損益				
経常損益	-189,529			
純損益	-194,249			
累積欠損金	2,942,895			
経常収支比率	93.9		97.7	96.3
医業収支比率	78.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.8		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	22.1		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	73.2		85.7	83.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,494,278
1 固定資産	4,029,324
(1) 有形固定資産	3,994,894
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	34,284
2 流動資産	464,954
(1) 現金及び預金	108,842
(2) 未収金及び未収収益	345,936
(3) 貸倒引当金( )	531
(4) 貯蔵品	10,707
3 繰延資産	-
負債合計	4,261,823
1 固定負債	3,071,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,820,070
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	100,000
(6) 引当金	151,088
(7) リース債務	-
2 流動負債	940,675
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	251,662
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	132,134
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	96,493
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	249,990
(1) 長期前受金	514,115
(2) 長期前受金収益化累計額( )	264,125
資本合計	232,455
1 資本金	3,063,847
2 剰余金	-2,831,392
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,831,392
負債・資本合計	4,494,278
不良債務	224,059
実質資金不足額	224,059
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	644,177	644,177
資本勘定繰入	136,931	80,862
計	781,108	725,039

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	224,059	10.4
平成30年度	20,718	1.0
平成29年度	85,614	3.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.0
健全化法上の資金不足額(千円)	224,059
健全化法上の資金不足比率(%)	10.3
地財法上の資金不足額(千円)	224,059
地財法上の資金不足比率(%)	10.3

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	公立那賀病院経営事務組合
	病院名	公立那賀病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,708 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	83.2	80.7	85.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	82.1	79.7	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.0	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.9
修正医業収益(千円)	6,797,998

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,736,841			
1 経常収益	7,736,841			
(1) 医業収益	6,954,124			
入院収益	4,356,681			
外来収益	2,226,733			
診療収入計	6,583,414			
その他医業収益	370,710			
(うち他会計負担金)	156,126			
(2) 医業外収益	782,717			
(うち国・都道府県補助金)	18,529			
(うち他会計補助・負担金)	331,161			
(うち長期前受金戻入)	192,522			
(うち資本費繰入収益)	140,261			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,828,452			
2 経常費用	7,828,452			
(1) 医業費用	7,399,640			
職員給与費	3,393,476	48.8	55.7	57.0
材料費	1,822,097	26.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,081,547	15.6	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	723,064	10.4	11.0	11.3
減価償却費	522,234	7.5	9.0	9.3
経費	1,588,054	22.8	23.3	22.1
(うち委託料)	697,424	10.0	11.5	11.1
研究研修費	19,396			
資産減耗費	54,383			
(2) 医業外費用	428,812			
(うち支払利息)	110,632	1.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-91,611			
純損益	-91,611			
累積欠損金	4,296,192			
経常収支比率	98.8		97.7	96.4
医業収支比率	94.0		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.0		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	92.6		85.7	85.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,892,946
1 固定資産	8,582,978
(1) 有形固定資産	8,558,381
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	24,597
2 流動資産	2,309,968
(1) 現金及び預金	1,105,503
(2) 未収金及び未収収益	1,112,226
(3) 貸倒引当金( )	11,280
(4) 貯蔵品	103,219
3 繰延資産	-
負債合計	7,792,931
1 固定負債	5,355,375
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,355,375
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,558,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	942,150
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	203,860
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	399,789
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	879,309
(1) 長期前受金	2,292,182
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,412,873
資本合計	3,100,015
1 資本金	7,239,169
2 剰余金	-4,139,154
(1) 資本金剰余金	157,038
(2) 利益剰余金	-4,296,192
負債・資本合計	10,892,946
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	761,339	487,287
資本勘定繰入	511,825	510,637
計	1,273,164	997,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	御坊市外五ヶ町病院経営事務組合
				病院名	ひだか病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,072 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 臨 感 へ 災		
診療科数	18	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	263	81.4	84.7	74.7
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	100	72.6	66.9	67.2
感 染 症	4	1.2	-	-
計	367	78.2	79.1	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.7	15.9

設立団体の状況		
人 口 (人)	-	
決 算 規 模 (千円)	-	
標 準 財 政 規 模 (千円)	-	
財 政 力 指 数	-	
経 常 収 支 比 率 (%)	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	84.4
修正医業収益 (千円)	5,792,134

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	6,771,257			
1 経 常 収 益	6,771,257			
(1) 医 業 収 益	5,859,109			
入 院 収 益	4,037,619			
外 来 収 益	1,549,076			
診 療 収 入 計	5,586,695			
そ の 他 医 業 収 益	272,414			
(うち他会計負担金)	66,975			
(2) 医 業 外 収 益	912,148			
(うち国・都道府県補助金)	16,713			
(うち他会計補助・負担金)	673,852			
(うち長期前受金戻入)	99,323			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	7,309,080			
2 経 常 費 用	7,298,040			
(1) 医 業 費 用	6,860,221			
職 員 給 与 費	3,652,712	62.3	55.7	57.0
材 料 費	1,326,665	22.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	673,034	11.5	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	580,152	9.9	11.0	11.3
減 価 償 却 費	509,684	8.7	9.0	9.3
経 費	1,357,907	23.2	23.3	22.1
(うち委託料)	429,860	7.3	11.5	11.1
研 究 研 修 費	12,128			
資 産 減 耗 費	1,125			
(2) 医 業 外 費 用	437,819			
(うち支払利息)	77,603	1.3	1.4	1.4
(3) 特 別 損 失	11,040			
損 益				
経 常 損 益	-526,783			
純 損 益	-537,823			
累 積 欠 損 金	6,182,387			
経 常 収 支 比 率	92.8		97.7	96.4
医 業 収 支 比 率	85.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	82.6		85.7	85.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	8,593,265
1 固 定 資 産	7,588,606
(1) 有 形 固 定 資 産	7,301,451
(2) 無 形 固 定 資 産	477
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	286,678
2 流 動 資 産	1,004,659
(1) 現 金 及 び 預 金	8,512
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	958,272
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	1,734
(4) 貯 蔵 品	39,309
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	7,690,157
1 固 定 負 債	4,007,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,842,077
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	161,043
2 流 動 負 債	1,948,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	380,205
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	252,967
(6) リ ー ス 債 務	52,420
(7) 一 時 借 入 金	800,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	436,527
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	12,700
3 繰 延 収 益	1,734,373
(1) 長 期 前 受 金	2,628,252
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	893,879
資 本 合 計	903,108
1 資 本 金	6,201,231
2 剰 余 金	-5,298,123
(1) 資 本 剰 余 金	884,264
(2) 利 益 剰 余 金	-6,182,387
負 債 ・ 資 本 合 計	8,593,265
不 良 債 務	563,746
実 質 資 金 不 足 額	563,746
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	713,214	740,827
資 本 勘 定 繰 入	268,834	346,794
計	982,048	1,087,621

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
令和元年度	563,746	9.6
平成30年度	372,616	6.2
平成29年度	303,883	5.4

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	105.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	563,746
健全化法上の資金不足比率 (%)	9.6
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	563,746
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	9.6

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	公立紀南病院組合
				病院名	紀南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,959 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	352	85.3	86.2	84.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	198	52.2	50.6	49.9
感染症	4	8.1	7.5	4.0
計	554	72.9	72.9	71.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.2	11.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.2
修正医業収益(千円)	11,599,786

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,957,938			
1 経常収益	12,957,938			
(1) 医業収益	11,665,744			
入院収益	6,952,835			
外来収益	4,135,581			
診療収入計	11,088,416			
その他医業収益	577,328			
(うち他会計負担金)	65,958			
(2) 医業外収益	1,292,194			
(うち国・都道府県補助金)	65,381			
(うち他会計補助・負担金)	784,183			
(うち長期前受金戻入)	271,665			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,887,987			
2 経常費用	12,887,987			
(1) 医業費用	12,190,701			
職員給与費	6,019,852	51.6	55.7	49.1
材料費	3,693,953	31.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,316,160	19.9	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,376,324	11.8	11.0	12.7
減価償却費	425,137	3.6	9.0	8.4
経費	1,956,435	16.8	23.3	20.7
(うち委託料)	869,511	7.5	11.5	11.6
研究研修費	60,356			
資産減耗費	34,968			
(2) 医業外費用	697,286			
(うち支払利息)	60,353	0.5	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	69,951			
純損益	69,951			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		97.7	98.8
医業収支比率	95.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	93.9		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,442,788
1 固定資産	10,232,089
(1) 有形固定資産	10,173,334
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	52,380
2 流動資産	4,210,699
(1) 現金及び預金	2,289,637
(2) 未収金及び未収収益	1,831,250
(3) 貸倒引当金( )	5,345
(4) 貯蔵品	95,157
3 繰延資産	-
負債合計	8,844,189
1 固定負債	5,251,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,241,269
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,079,925
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	711,642
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	439,979
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	879,937
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,512,995
(1) 長期前受金	6,765,147
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,252,152
資本合計	5,598,599
1 資本金	2,485,025
2 剰余金	3,113,574
(1) 資本金剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	2,736,404
負債・資本合計	14,442,788
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	806,772	850,141
資本勘定繰入	391,038	453,696
計	1,197,810	1,303,837

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。